



豊能町立とよの西学園

学校だより



令和8年(2026)年
7月1日 NO.4
校長 内野 慎也

学校教育目標 「なりたい自分を育てる学校」～自律・つながり・挑戦を育てる～

9年生 沖縄修学旅行

令和8年5月22日(金)から24日(日)にかけて沖縄方面へ修学旅行に行きました。1日目は、「沖縄平和祈念公園」で平和セレモニーを行い、千羽鶴を奉納してきました。その後、糸数アブチラガマ壕に到着し、「ガマ(自然洞窟)追体験」を行いました。2日目は、「美ら海水族館」を散策しました。海水魚のぬいぐるみをお土産に買っている生徒がたくさんいました。その後、ホテル近くの海で、マリンスポーツの体験を満喫しました。夕食後、生徒みんなが楽しみにしていた「夜のレクリエーション」を行い、大変盛り上がりました。3日目は、お世話になったホテルを後にし、国際通りに到着後、「班別活動」を行い、那覇空港へ到着。夕方、伊丹空港に無事に到着しました。学校到着時には、たくさんの保護者の方々に迎えていただき、旅の疲れが癒された思いになりました。3日間、修学旅行の目的を達成すべく、生徒一人ひとりがしっかりと活動できていました。9年生の団結力を見ることができた、素晴らしい修学旅行でした。



期末懇談(二者懇談・三者懇談) どうぞよろしくお願ひします

令和8年7月10日(金)・13日(月)・14日(火)・15日(水)の4日間、それぞれ午後から16時45分までの間で、期末懇談を実施させていただきます。お忙しいこととは存じますが、児童生徒の学校での様子やご家庭での様子、1学期の児童生徒の成果や課題等を共有させていただき、2学期のよりよい指導や支援につなげていきたいと考えております。何卒ご出席いただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

1年生から6年生は二者懇談(保護者と教職員)、7年生から9年生は三者懇談(生徒と保護者と教職員)を行わせていただきます。なお、教職員の勤務時間(16時50分まで)の関係で、期末懇談終了の時刻を決めさせていただいております。保護者のみなさまのご理解、ご協力の程、どうぞよろしくお願ひいたします。

お知らせ

豊能町教育委員会より、熱中症対策のために、本校施設内にウォータークーラーの増設、ミストシャワーの設置、冷凍庫(ネッククーラーを冷やすため)の設置が行われる予定です。各ご家庭でも帽子の着用や日傘の利用など、児童生徒とご確認ください。

練習の成果が十二分に発揮された 圧巻の「合唱発表会」!!

令和8年6月5日(金)、場所はユーベルホールにて、7年生から9年生による『合唱発表会』が13時10分から行われました。ご参加いただきました保護者のみなさま、誠にありがとうございました。

開演を知らせる「ファンファーレ」が行われた後、順に「7年の部(学年合唱、クラス合唱)」・「8年の部(学年合唱、クラス合唱)」・「9年の部(クラス合唱、学年合唱)」の流れで、各学年の間で休憩をはさみながら発表しました。

どの学年もすばらしい発表で、校長からの講評では、7年生は「堂々とした歌声」、8年生は「美しい歌声」、9年生は「未来を感じる歌声」であったことを感想として述べさせてもらいました。また、生徒一人ひとり、クラス全体ならびに学年全体の舞台での立ち姿を見て、「私はここに生きている」「私たちはここに生きている」という『生命(いのち)の輝き』を合唱を通して、感じる事ができたことを最後に伝えました。

今後の学校生活の中で、今回参加できなかった生徒も含めて、『生命(いのち)の輝き』をいろいろな場面で見せてくれることを期待しています。すばらしかった!!



【前期学部(1年生から4年生) コラム③】 ～遊びから学びへの変換へ③～

「自分の好きなもの(こと)だけ、好きなだけする」という体験や経験。児童生徒だけに限らず、大人にとっても人生を楽しく送っていくために、とても大切な時間となります。こうした時間を過ごすために、好きなことを見つけたり、時間を確保したりすることが必要となってきます。特に、前期学部(1年生～4年生)の間では、親子でこうした時間をつくる事ができれば、親子のコミュニケーションもとれ、普段あまり目にする事ができない表情や行動を一緒に共有できたりするのではないのでしょうか。何より、児童生徒の心に保護者の方と「つながる」喜びを感じるのではないのでしょうか。

一方で、「自分の好きなもの(こと)だけ、好きなだけする」という生活だけでは、学校でも、社会でも児童生徒が困ることがでてきます。つまり、「自分のやりたくないことも、やらなければならない」場面がでてくるからです。こうした時に、「時間を決めて、好きなことをする」や「やらなければいけないことをやりきった時にほめる(称賛する)」、「好きなことをする時間とやらなければいけないことをする時間を自分で決めてやる」、「やらなければならないことも楽しむ」などの習慣が「学びへの変換」が生まれやすくなるポイントになってくるのではないかと考えています。

